



脱臭・消臭性能評価試験

脱臭や消臭の効果を定量的に判断いたします。

脱臭、消臭の効果判断

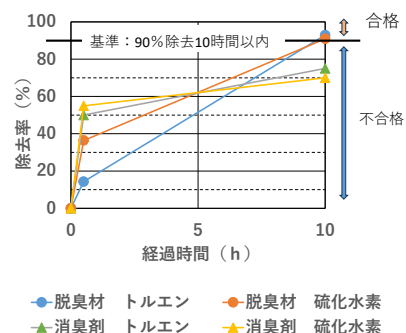
コロナ禍を経て室内での生活時間が長くなってきています。そのため生活環境の改善、特に臭いの除去が求められ、消臭剤や脱臭材に加え、脱臭機能を強化した空気清浄機などさまざまな製品が販売されています。

これらの製品の脱臭や消臭の効果を定量的に判断いたします。

効力試験について

- 芳香消臭脱臭剤協議会が制定した効力試験は、脱臭材や消臭剤などの比較的小さい製品を対象として、10Lガスバック内に製品と悪臭成分を封入し経過時間に対する減臭の効果を把握するものです。
- 代表的な悪臭成分は38成分があり、利用環境に応じて単独成分または複数種を組み合わせで試験できます。
- 測定は検知管などの定量評価方法と、実際に人が臭いを嗅いで判断する官能評価方法があり状況に応じて使い分けます。

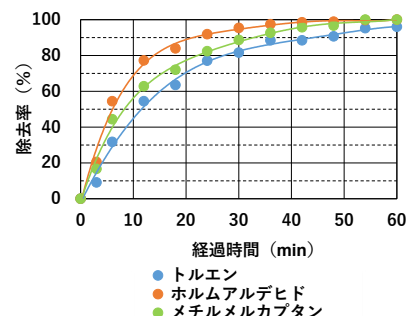
試験内容	効力試験方法
対象	消臭剤・脱臭材(小型試料)
容器	10Lガスバック
臭気源	試薬等
悪臭成分	悪臭成分(38成分より選択)
評価	最長24時間後の臭気除去割合 基準: 90%除去10時間以内



脱臭機の性能評価試験について

- 脱臭機など比較的大きな装置の性能評価はJEM1467日本電機工業会規格の「空気清浄機の脱臭性能試験」によるのが一般的です。
- この試験は1m³の箱内のタバコ副流煙を源臭に、脱臭機作動から30分後の臭気除去割合を把握するものです。対象の悪臭成分は、通常アンモニア、アセトアルデヒドと酢酸の3成分です。
- 当社では、このJEM1467試験と前述の効力試験を組み合わせ、さまざまな悪臭成分を対象とした脱臭機の性能評価試験も実施しております。

試験内容	脱臭機の性能試験
対象	脱臭機(大型試料)
容器	1m ³ 箱
臭気源	タバコ副流煙 or 試薬等
悪臭成分	アンモニア、アセトアルデヒド、酢酸を含む38成分より選択
評価	30分後の臭気除去割合



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2024 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。